



おおぞら

コミュニティ・スクール
長井市立致芳小学校だより
令和3年9月28日 NO.10
校是「和致芳」

「みんながなかよく高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう」

19日(日) 青空の下でさわやかな笑顔広がる。

～致芳小学校運動会 順延して行われました～

運動会解団式の最後に組頭から団旗返還がありました。白組組頭は「優勝嬉しかったです。」「がんばったね」「はい!」、赤組組頭は「くやしかったです。でもやり切ったので満足です」。すばらしい笑顔です。輝く笑顔です。リーダーは大きく成長しま



す。今年の運動会でもこの瞬間に出会うことができました。徒競走での得点は、赤260対白261点、まさに接戦でした。団体種目でも白組がリードで終え、赤組は最終種目のリレーに逆転をかけるこ



とになりました。白と緑のゼッケンの白組が赤と黄色のゼッケンの赤組を制し、総合優勝は白組。応援では1回目の応援合戦のリードを2回目ですらに広げ、チームワーク賞は赤組でした。1回目の応援合戦の時からよく通るそろった声でリードして、最後までチームの動きがそろい、文句なしのチームワーク賞でした。1日順延して迎えたこの日の運動会はすばらしい青空のもと、「絆 心を一つに笑顔輝く運動会にしよう」のスローガンのようにさわやかな笑顔を残して終わりました。高学年を中心にした組役員の顔には、やり切った満足感が浮かんでいました。昨年の運動会は終わった後に、「昨年までだったら、コロナがなかったら」と『せつなさ』を感じました。今年はそれを乗り越えて『さわやかさ』が心に残りました。With コロナでの運動会の新たな歴史の始まりを感じました。子ども達は運動会という大きな行事への真剣な取り組みを通して心がひと回り大きく育っていることを実感しました。早朝から準備にご協力いただいた



PTA 役員の方々、あたたかいまなざしと大きな拍手で応援していただいたご家族の皆様、本当にありがとうございました。

PTA あいさつ運動へのご協力をお願いします。

10月1日から10月8日まで2学期の PTA あいさつ運動を行います。「明るいあいさつ、気持ちの良いあいさつ」をするように子どもたちも意識しています。朝の忙しい時間帯ということもあり、協力が難しいご家庭もあるかもしれません。可能な限りで結構ですので、子ども達へのあいさつと励まし、登校時の安全見守りをお願いいたします。また、10月の4年生教育山記念植樹で親子行事が各学



年とも終了します。致芳教育会やコミセンの皆さん・地域の皆さんにも多くの協力をいただいております。コミュニティ・スクール致芳小学校であり、学校・地域・家庭が一体となって地域に学ぶ・地域の人に学ぶ活動を工夫していただいていることに深く感謝申し上げます。

今後必要になる教育と地域の役割とは。

【2021.9.8 地域学校協働活動推進員養成講座から教えていただきました。】

未来を生きる子どもたちにどんな力が必要かというと、

【学び続ける力を身につけること】 これは第6次山形県教育振興計画(6教振)でも重点「いのちをつなぐ人」「学びを生かす人」「地域をつくる人」の一つに挙げられています。社会の変化に応じて、何をどのように学んでいくのかを**自ら主体的**に考え、**自ら未来を創っていく力**こそ、2030年の社会で求められる力なのです。

【そのために連携協働してできること】

いろいろな経験、さまざまな人との出会いができるよう

安心して失敗し、そこから学ぶことができるよう

人が用意しすぎず、先回りせず、

本物と出会えるよう子どもの本気をどう高められるかが問われている。

《竹原和泉 氏 NPO 法人まちと学校のみらい代表理事》



「安心して失敗できるか?」「用意しすぎでないか?」「本物と出会えるように」「本気を高められるような学校か?」未来を生きる子どもたちにどんな力が必要か(ゴール)を見据え、現在の子どもの実態と結びつけ、そのためにこれからどんな学習・成功体験・失敗経験をさせたいか、授業をどう変えるかを真剣に考えていきます。

27日(月)には、致芳教育会会長の鈴木陽一先生から、「教育山と植樹~その歴史と役割~」について教えていただきました。4年生の親子行事で植樹を行います。親子二代、または祖父母の代から三代にわたって、続いている大切な体験であると教えていただきました。「地域をつくる人」地域の未来を創る本物の学びに近づけていきたいと思ひます。

